

真宗佛光寺派  
大阪教区・  
別院だより

# 大悲

第54号

令和6年(2024年)  
7月1日 発行



水辺に咲く一輪の蓮（大阪市東住吉区、長居公園）

近所のお参りに自転車で向かう途中、五年生になる長男の学校の前を通りかかった時のこと。たくさん子どもたちが校庭中に広がって、大声をあげながら遊んでいました。

思わず自転車を止め、しばらくその様子を眺めながら「ああ、よかったなあ」と、とてもうれしい気持ちになりました。

長男が一年生になった四月に緊急事態宣言が発出され入学式は延期。以来、密の回避やマスク着用など、さまざまな制限の中での学校生活となりました。

四月には入学式、休み時間には校庭を大声で走り回る。それが当たり前だと思っていました。が、実はそうではありませんでした。

「当たり前前の不思議」。当たり前前だと思っていることも、実はさまざまな縁が整って初めてあり得ている。ろくな思い出がないコロナ禍ですが、その「コロナ禍にもおかげさま」と言わせていただける世界があったことを知らされる、何気ない校庭の光景でした。

（門川 崇志）

# と う ひ が ん 到 彼 岸



ただ念仏という贈りもの

妙圓寺 あしな あきら 葦名 彰

の方はお寺の活動をよくご存じで、煮炊きする大きな鍋があり、お供えが玄米で上がり、米ぬかや鷹の爪があることなど事情をよくご存じのうえで大きな筍を届けてくださったのです。

私は下茹でする用意が既にお寺に揃っていることも知らずにいたことを気づかされた出来事でした。

## 我が身を知らされる

贈りものというのは、贈る相手のことを思って選んで贈られます。その点で言いますと、お念仏の教えも贈りものと言えると 생각합니다。

阿弥陀さまが生き辛さを感じ苦悩する私たちのことを、よく考え見抜かれた贈りものです。だから教えをいただく、喜びと共に自分自身では気づけない見抜かれた我が相すがたが知らされます。

誰しも大切な人と死に別れるような辛い目に遭うことがあります。また過

ちを繰り返す情けない思いをしたり、そんな自分の愚かさを責めたりします。いろいろな出来事の経験の中で、我が人生の行く末に不安を感じるようになります。

阿弥陀さまはそういう私をよく見抜かれたからこそ「我が名を称えるものを必ず救う」という願いをおこされました。

親鸞聖人は法然聖人から「ただ念仏申しましょう」と勧められました。そのお勧めに、「雑行ぞうぎょうを棄てて本願に帰す」とお応えになります。この言葉は親鸞聖人自身が、我が身に起こるあらゆる困難を避けて遠ざける生き方をするのではなく、困難を困難のまま引き受けて生きる力を、阿弥陀さまからの有り難い贈りものとしていただかれた言葉だと私自身、受け取りました。



# 如にょ是ぜ我が聞もん

## 仏の声

滋賀北教区 光台寺池下道場

おおはし いちろう  
大橋伊知郎師



大阪市淀川区・西光寺様での布教大会にて大橋伊知郎師より、ご法話を賜りました。

### 先人からの問い

「前に生まれん者は後を導き、後に生まれん者は前を訪え」という言葉に、人生を歩むということがはつきりとしていない私たちが、先立っていかれた方々を通し、「あなたはどうのように、いのちを歩み、生きていくのか」と常に問いかけられ、喚びかけられているのです。

### 思い通りにならない

私たちは「生老病死」という四つの苦しみを抱えています。一体何が苦しみなのかと言いますと、生まれてくることも、老いていくことも、どれ一つ私の思い通りにならないにもかかわらず、思い通りにしようとするところに、実は苦しみがあります。それは、自分の思いや考えに縛られるような在り方で、知らず識らず、自身に苦しめられています。

そういう私を、仏さまは自分の子どものように慈しみ、念じてくださっています。

### 喚びかけられる声

仏さまは自分中心に生きる私に願いをかけ、様々な支えの中を生きる私のいのちだつたと気づかせようと導いてくださっているのです。それは、絶えず私たちに喚びかけてくださる声があるということですから。私たちは、生まれてから死んでいくまで、一人で生きていくという錯覚に陥り、ど

こまでも他者不在であるような生き方をしてしまいます。

しかし、我が身というのは、私一人で生きているのではなく、ご先祖や先立たれた無数の方々によって支えられ、連綿と紡がれてきた私の「いのち」であつたことを見失ってはいけないのです。

### 聴聞して

何でも自分の思い通りにしたいと誰しもがそう思うでしょう。しかし、自分自身の足を支えている私の命は、先祖から賜ったことでしか歩めない尊い命なのです。私が常日頃、当たり前にしてしまっている、ついつい見失ってしまう命の根本を見つめなおす機縁だつたと聴聞させていただきました。

(中井翔隆 記)



# 大阪探検

## てっぽうかじやしき 鉄炮鍛冶屋敷

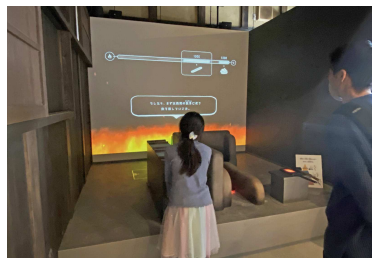
(堺市立町家歴史館・井上関右衛門家住宅)



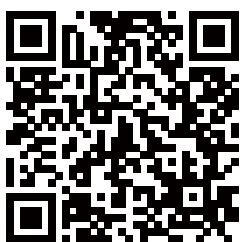
鉄炮鍛冶屋敷の外観



掲げられた絵符



鉄炮鍛冶を体験



鉄炮鍛冶屋敷のホームページ

(玉出宗順)

いです。

鍛冶場を再現した建物では鉄炮鍛冶の仕事をゲーム感覚で体験できます。モニターに写る親方の指示に従ってフィゴを使って炉の温度を上げ、熱くなった鉄をテンポ良く叩くのですが、だんだんテンポが複雑になるので子どもも大人も楽しめます。活気ある江戸時代の鍛冶場にタイムスリップしたような体験をぜひ感じてほしいです。

### 貴重な発見

鉄炮の一大生産地であった堺。井上関右衛門<sup>せきえもん</sup>家住宅は江戸時代から残る全国唯一の鉄炮鍛冶の作業場兼住居です。堺市による保存修理を終え鉄炮鍛冶屋敷(堺市堺区北旅籠町西)として2024年3月に開館しました。

2014年から始まった調査で屋敷内から2万点を超える古文書等が見つかり鉄炮生産の歴史を塗り替える新事実が次々と明らかになりました。例えば江戸時代、鉄炮生産は衰退したと考えられていましたが、幕末まで生産が拡大し1842年には堺の鉄炮鍛冶は全国の約8割以上にあたる239の大名・旗本家と取引してい

### 鉄炮鍛冶を体験

特に井上家は取引先が多く、理由としては高い技術力はもちろん、顧客の注文に合わせた鉄炮造りなどにも対応していたからだと考えられます。徳川御三家の水戸藩や大岡越前守など名の知れた大名が取引先でした。「みせの間」に掲げられた絵符(荷札)の数が顧客の多さを物語っています。

# ごえんさんを訪ねて

しょうこうじ 稱光寺 (東大阪市) ころの ひろき 河野 弘貴 住職



東大阪にある稱光寺はもともと自宅を道場として村人の教化にあたっていました。江戸時代中期に本山佛光寺より寺号を賜り、お寺としての活動を始められました。

ご住職は生まれる前に父親を亡くされ、ずっと祖父が住職をつとめられていました。しかし高齢で目を悪くされ母方の祖父が継職されました。龍谷大学を卒業された後、共にお寺を支えてこられました。が、昨年、母方の祖父が病気になるに住職を継職されました。

## 乗り鉄

子どもの頃、祖父につれられよく列車に乗っていたそうです。今でも列車が大好きとお話しされる住職。大学入学当時、九州新幹線が開通したことをきっかけに、1・2回生の間にがんばって単位をとるために勉強をされ、3回生以降に時間をつく



稱光寺本堂

## 住職と幼稚園

午前中は月参り・法事などをつとめる住職として、また昼からは母親が園長をつとめる幼稚園の事務職員をされています。主な仕事として給付金の書類作成などを担当されているようです。

直接、園児に関わることは少ないようですが法改正などで園のブロック塀の改修工事などをしないとけないときには、子どもたちの安全を第一に考えておられる優しい一面をお話しくれました。

継職1年目、心優しい鉄道好きの住職です。

(寿栄松正顕)

り、好きな列車に乗りに行こうと計画をたてられました。卒業する頃には近畿一円の路線をほぼ制覇。和歌山から三重を経由して名古屋あたりまでの列車に乗った思い出をお話しくれました。

今後はまだ乗っていない九州新幹線、今年延伸した北陸新幹線、これから札幌まで伸びる予定の北海道新幹線などの列車に乗車がしたいと楽しそうにお話しくれました。

### ■稱光寺(しょうこうじ)

〒577-0061  
東大阪市森河内西1-33-22  
電話 06-6781-3702  
Fax 06-6781-3702



# 大悲トピックス

## ■新役員紹介

大阪教区の法友会（住職会）、さつき会（坊守会）ならびに佛青懇和会（青年会）の新役員が決定しましたのでご紹介いたします。（敬称略）

### 法友会

- ▽会長・善本和彦（本光寺）
- ▽副会長・佐々木雅人（西圓寺）
- ▽書記・道野真弘（超願寺）
- ▽会計・藤澤泰人（唯信寺）
- ▽監事・寿栄松正顕（西光寺）
- ▽理事・藤井真幹（宝林寺）

### さつき会

- ▽会長・中井秀子（最勝寺）
- ▽副会長兼会計監査・吉田智恵子（光明寺）
- ▽会計・寺田真紀（報恩寺）
- ▽書記・遠上行子（常念寺）

### 佛青懇和会

- ▽会長・松野正暁（光念寺）
- ▽副会長・中井翔隆（最勝寺）
- ▽書記・脇阪義仁（霊松寺）
- ▽会計・和田正智（慈光寺）
- ▽監事・勝部正典（光圓寺）

### ■懇志御礼

東京都台東区 西徳寺様  
滋賀県守山市 西光寺様  
奈良教区御一同様

### ■シンポジウムに参加

4月24日、本山佛光寺で広宣会が主催して「教学振興」をテーマにシンポジウムが開催されました。約40名参加の中、大阪教区の大悲の会を代表して、『大悲』誌の発行と、法話集出版に至る経過とその後の反響について報告させていただきました。 (大悲の会会長 長田 讓)



シンポジウムでの発表風景

## 真宗佛光寺派 如来寺

気がつけばいつも  
お蔭さまのなか  
芦屋市川西町8-6  
住職 藤谷 信道


御本山  用達

## 株式会社 川勝法衣店

フリーダイヤル 0120-075-055  
(〒600-8344) 京都市下京区花屋町通油小路東入  
電話 (075) 371-0367(代)  
FAX (075) 371-5088

創業100余年・お墓の専門店

## 石留石材株式会社

土日祝もご相談いただけます（8時～17時）  
 0120-53-5578  
■本社：大阪府藤井寺市津堂2丁目9番29号

仏跡参拝なら専門旅行会社に  
お任せ下さい!!

～歩もう仏陀の道のりを～



株式会社 **モントラベル**

〒550-0013  
大阪市西区新町1-8-1 行成ビル  
お気軽にお問い合わせください  
TEL. 06-6531-1344

お墓なんでも相談センター

とわ おも かたち かえ  
永遠の想いを像に還るお手伝い



株式会社 吉澤石材工業所

フリーダイヤル 0120-49-1482

浜屋は関西最大級の  
お仏壇・お仏具・墓石・御寺院お仏具の  
専門店です。



やすらぎの  
世界を創る

**浜屋**

通話料無料/浜屋姫路本社フリーダイヤル  
お問い合わせ  
お申し込みは **0120-1616-94**  
●受付時間/午前10時～午後6時30分

# だいひ 絵日記

- 4月11日(木) 大悲の会編集会議(第54号読み合わせ)(オンライン会議)  
4月16日(火) 法友会研修会  
(「これからのお寺を、考える」、講師:大谷 義文 師) ①  
4月18日(木) 佛青懇和会研修会(仏画を描く)  
4月26日(金) 大悲の会編集会議(第54号読み合わせ)(オンライン会議)  
5月7日(火) さつき会総会 ②  
5月16日(木) 大悲の会編集会議(第54号読み合わせ)(オンライン会議)  
5月23日(木) 佛青懇和会総会  
5月27日(月) さつき会(全国坊守会連盟大阪大会)  
6月7日(金) 法友会総会、大阪教区総会  
6月25日(火) 大悲の会編集会議(第54号発送作業・第55号内容検討)  
(法友会=住職会、さつき会=坊守会、佛青懇和会=青年会)



協 賛

**佛青懇和会**

大阪教区の青年会  
(会長:松野正暁)

協 賛

**さつき会**

大阪教区の坊守会  
(会長:中井秀子)

協 賛

**法友会**

大阪教区の住職会  
(会長:善本和彦)

## ■誌面広告の募集 (『大悲』発行は広告によって支えられています)

企業・団体・寺院の広告を誌面に掲載させていただきます。

1区画(55mm×40mm)、掲載1回につき5,000円です。

## ■定期購読の受付 (ご門徒の皆様方にもお渡しく下さい)

『大悲』の定期購読は、1部につき30円です(送料込)。10部単位でお願いいたします。

## 法要のご案内

### 大阪別院盂蘭盆会

8月13~15日午後2時

### 大阪別院彼岸会

9月19日(木)午後2時

法話:中井 翔隆 師(最勝寺)

9月22日(日・祝)午後2時

法話:長田 譲 師(正念寺)

9月25日(水)午後2時

法話:寿栄松 正顕 師(西光寺)

## お寺の掲示板

わかっていなくても

わかっていなかった

できているようで

できていなかった

思いだけは一人前

## 編集秘話

先日本山のシンポジウムで「教学の振興」をテーマに大悲の会の代表として、発言する機会を頂きました。『大悲』を発行して12年間と法話集『大悲に照らされて』の出版の経緯をまとめながら、あらためてメンバー誰一人欠けても成し得なかった作品であり、「御同行・御同朋」素晴らしい仲間との合作でありました。(長田)

## 編集後記

第4号までは広報誌『大阪教区・別院だより』でしたので、伝道誌『大悲』として発行されて今号で50号目となります。『大悲』では原稿担当者の名前を掲載していますが、何度も編集会議を繰り返してメンバーの意見を取り入れた作品なので、「編集秘話」に記載してあるようにメンバーの合作そのものです。(編集長・隅谷)

大阪教区・別院だより『大悲』 第54号(夏号)  
令和6年(2024年)7月1日発行 (発行部数2200部)

発行:大悲の会

事務所:佛光寺大阪別院内

〒558-0011 大阪市住吉区苅田6-11-24 電話06-6691-1362

郵便振替口座:口座番号「00990-4-305218」加入者名「大悲の会」

ホームページ(HP) <http://daihi.org/> (ご意見・ご感想はHP内の「お問い合わせフォーム」より)

大悲の会

長田 譲(会長)

隅谷 俊紀(副会長)

寿栄松 正顕(会計)

玉出 宗順(会計)

門川 崇志(監事)

佐々木 太一

葦名 彰

中井 翔隆